

## 銀河の森プレイパーク ~ インターンシップ体験 ~

主催: 相模原市、相模原に冒険遊び場を作る会  
担当課: こども青少年課

### ボランティア参加にあたっての3つのステップ

#### プレイパークに来る

プレイパークを満喫する。遊ぶ。楽しむ。くつろぐ。人と出会う。

#### プレイパークを作る

プレイパークを作る。準備する。続ける。仲間(同志)と出会う。

#### プレイパークで学ぶ

プレイワーキングや組織運営をフィールドワークにする。



「銀河の森プレイパーク」は、相模原市と「相模原に冒険遊び場をつくる会」の協働事業により、2012年に誕生した冒険遊び場です。子供達が自ら遊びを考え挑戦したり、失敗したりといった体験を積むことにより、たくましく成長する場所・機会を提供しています。運営はプレイリーダーと呼ばれる責任者や、大人から中学生と幅広い地域のボランティアの方々が運営スタッフとして活動しています。運営スタッフは子供達と共に遊びながら興味や関心を引き出し、自由に自然いっぱいの遊び場をサポートしています。また、プレイリーダーの育成講座、勉強会の開催も行っていて、参加した大人の方も「すごく良い経験、勉強になった」と楽しそうに話してくれました。

冒険遊び場「銀河の森」プレイパークは、原則として毎週日曜日・月曜日・水曜日に開園しています。また、小学校、子ども会、公民館などから依頼があれば現地に出向き、冒険遊びを実施することもあるそうです。

## 「銀河の森プレイパーク」での活動 ～実際に体験してみて～

「銀河の森プレイパーク」は、淵野辺キャンプ留保地の少し奥にある雑木林を活用して、子供たちに冒険遊び場を提供しています。

体験に行った日は夏場ということもあり、子供たちが作った手作りプール・手作りウォータースライダーでの水遊び、小学生と公園の芝生で裸足でサッカーなどをしたりと、元気いっぱい笑顔で遊ぶ子供達がとても印象的でした。

そんな中でプレスリーダやスタッフの方達は子供達と遊びながらもリスク管理をしていて、危険なこと、危険な箇所があれば、しっかりと叱ったり、片付けをしたりと、サポートスタッフの気配りの良さにも驚きました。



### 手作りウォータースライダー！！

走って勢いをつけ、ブルーシートにスライディング！そして水の溜まった穴にダイブ！小学生達はそれを何回も繰り返し、ずぶ濡れになりながら弾けるような笑顔で笑っていました。そこにサポートスタッフも加わり、さらにウォータースライダーはパワーアップ。最後にはとても迫力のあるものになっていました。

### 手作りプールでおおはしゃぎ！！

手作りプールの方では主に幼稚園児くらいの子供達が遊んでいました。とっても元気いっぱい、驚くほどパワフルな子供達ばかりでした。そんな子供達と水の掛け合いをしたのですが、抜群のチームワークで圧倒されてしまい、スタッフチームはビショ濡れで完敗でした。





## サポートスタッフの方々、保護者の方、子供達にインタビュー

### Q1.活動を始めたきっかけは？(プレイリーダー)

現代の子供は遊びと言うと携帯ゲームをもって誰かの家に集まるといった遊びばかりで、昔にくらべて缶けりや、シンプルな鬼ごっこをする機会がめっきり減ったと思います。その背景には、子供が小さいうちからのびのびと遊べる場所が減ってしまったことが原因として挙げられるのではないかと思います。では、どこなら子供を自由に遊ばせてあげられるかと悩み、力を貸してくれる市役所やボランティア団体を探した結果、現在のプレイパークのある場所に出会いました。

活動を始めた当初は、なかなか子供たちも保護者から離れず、保護者もまた心配をしていましたが、いまでは子供たちはすっかりたくましくなり、保護者に頼ることなく自ら仲間を見つけ自発的に遊んでいます。

子供の成長過程を見ているとすごく驚きますし、今後もっともっとたくましく育っていっていくと思うととっても楽しみです。

### Q2.活動をするうえで大変なことは？(プレイリーダー)

立地の関係上、開催場所がわかりづらく、通行途中の方からプレイパークが何をする所なのが見えにくいと思います。通りがかりの親子がふらりと入ってみたくなるような場所にはない、ということです。また、どんな子でも遊びに来て欲しいので、子供に受益者負担をおわせることは考えておらず、必然的にプレイパークの経済的自立は困難な状態です。協働事業の補助から離れると、補助金や寄付金を募って活動を続けることになりますが、寄付金で存続できるのは大々的に活動を行っている団体くらいです。しかし、もっと場を活用してもらって知名度を上げようにもスタッフ数の関係上、開催日を増やすのは難しいのが現状です。

### Q3.この活動に関してどう思いますか？(保護者)

とってもいい活動だと思います。最初は少し心配もあったけど子供がこの活動に参加してから転んでもすぐ泣かなくなって、たくましくなっていく姿が感じられるようにもなりました。親の手から少し離れていってしまった様な寂しさもありましたが、このような自然いっぱいの遊び場が減っている中で、大自然の中遊ぶことができて贅沢にも感じますし、活動、運営してくださっているスタッフの皆様にも感謝しています。

### Q4.この活動に関してどう思いますか？パート2(子供達)

- ・友達が増えた！
- ・年下の子の世話をするのが楽しい！
- ・理想の秘密基地が作れて楽しい！
- ・協働作業が楽しい！
- ・自由に遊べる！
- ・やったことのないことが体験できる！
- ・風が気持ちいい！
- ・スタッフの人たちが優しい！

